

水稻病害虫防除情報

第2号（8月8日発行）

発行者	兵庫県農業共済組合赤相事務所	(0791) 45-1101
連絡先	光都農業改良普及センター	(0791) 58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	(0791) 52-2224
	相生市農業協同組合	(0791) 22-0676

1 水稻の生育状況・病害虫発生状況

6月下旬から8月上旬にかけての平均気温は平年より高くなりました。降水量は、7月中旬まで平年並みに推移していましたが、7月21日の梅雨明け以降、平年より極端に少なくなっています。また日照時間は7月下旬以降に平年以上となりました。

草丈は全般的にやや高くなっています。

▶生育調査結果（8月6日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本／株）	備考
ヒノヒカリ（赤穂市高雄）	91.4	20.5	移植日 6月8日
キヌヒカリ（相生市森）	稈長 80.0 穂長 19.0	穂数 13.9	移植日 5月27日
ヒノヒカリ（上郡町大枝）	89.8	26.9	移植日 6月8日

▶病害虫調査結果（8月6日調査）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	各地で発生していますが発病程度は少ないです。
紋枯病	一部で発生しています。
縞葉枯病	今回の調査では確認していません。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	各地で発生していますが発生程度は少ないです。
カメムシ類	一部で発生しています。
イネカメムシ	各地で多く発生しています。

2 病害虫の防除

- ①紋枯病 高温が続くと多発生しやすいので、多施肥、過剰分けつ田では注意が必要です。
- ②カメムシ類 8月2日に病害虫防除所から斑点米カメムシ類の注意報が発表されました。
イネカメムシには出穂直後と出穂8日後にトレボン乳剤又はスタークル液剤10を散布して下さい。
- ③紋枯病、ウンカ類、カメムシ類等の被害を防ぐため、栽培こよみを参考に防除を徹底してください。

品種	防除時期	主な薬剤名
ヒノヒカリ	8月中旬	ビームトレモンセレン粉剤DL

※住宅地の近辺など粉剤防除が難しい場合は粒剤防除を！（粉剤より少し早めに）

品種	防除時期	主な薬剤名
ヒノヒカリ	8月上中旬	モンガリット粒剤、コラトップトレボン粒剤

☆薬剤は使用量等登録内容を十分確認し適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、光都農業改良普及センター、兵庫西農業協同組合、相生市農業協同組合（上記連絡先）までお問い合わせください。

3 水管理

中干し後は、間断かん水で根の活力を維持しましょう。

4 その他

イナゴ類やカメムシ類の水田侵入を減らすため、出穂2週間前までの畦草刈りを徹底しましょう。

農薬の飛散防止に努めましょう。作業中の熱中症対策を忘れずに！

次回発行予定 8月30日です

	調査 地区名	調査圃 作付品種	調査圃 田植日	病害(抽出25株中の発病株数)								害虫発生状況								その他	
				葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病		ツマグロ ヨコバイ	ヒメビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビロ ウンカ	バッタ類	フタオビ コヤガ	カメムシ 類	イネ カメムシ	箱施用剤	備考
				発病 株数	発病 程度	発病 株数	発病 程度	発病 株数	発病 程度	発病 株数	発病 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	有・無	
赤 穂	新 田	きぬむすめ	6/15														少				
	高 雄	ヒノヒカリ	6/8	3株	少			3株	少								少				
	西有年	キヌヒカリ	5/30	1株	少														中	多	
	有年原	ヒノヒカリ	6/7	2株	少			1株	少								少				
上 郡	宇治山	ヒノヒカリ	6/5	15株	少												少				
	野 桑	コシヒカリ	5/10																中		
	大 枝	ヒノヒカリ	6/8	5株	少												少		多	多	
	八保乙	きぬむすめ	5/31														少				
相 生	那波野	きぬむすめ	6/17	22株	少												少				
	野々	ヒノヒカリ	6/13	13株	少														少		
	森	キヌヒカリ	5/27	18株	少												少		少	中	

※ 発病程度は、無、少、中、多、甚の5段階評価です。

(病気の発病程度は病斑の進行具合により評価しています。)